

24. 7. 28

# 日南モクスガニ放流

## 日南広渡川 漁協が355キロ

日南市・日南広渡川漁協（戸田博組合長、280人）は広渡、酒谷川にモクスガニ355キロを21日放流した。

毎年夏に実施。今回は、宮崎市内の河川で捕られた20〜30センチ、甲幅が2〜4センチの天然稚ガニを放した。戸田組合長ら4人で作業を分担。酒谷川4〜5カ所に105キロ、広渡川は10カ所ほどに250キロを放した。

このうち、北郷小中近くの水と土ふれあい公園裏には、戸田組合長が20キロを放流。稚ガニは長雨で水量が増した川の流れに乗り、あつという間に見えなくなった。漁解禁日は8月1日だが、漁協はカニが上流に上る途中

で生育不足として9月に変更する考え。戸田組合長は、漁をするには鑑札が必要。かに籠は1人3個以内、籠の引き上げは日中ということ徹底してほしいと呼び掛けている。モクスガニは、山太郎ガニとも呼ばれ、県南の郷土料理力



モクスガニを放流する戸田組合長

二まき汁の材料として知られる。かつては豊富に見られたが乱獲などにより減少。漁協

は、資源を守るため毎年稚ガニを放流するとともに、8〜12月には定期巡視している。